



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東大

上場会社名 燦ホールディングス株式会社  
コード番号 9628 URL <http://www.san-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古内 耕太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大井 信三

TEL 06-6226-1716

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,865	4.8	761	150.1	754	152.7	351	528.7
23年3月期第2四半期	8,456	0.0	304	12.7	298	32.9	55	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 351百万円 (528.7%) 23年3月期第2四半期 55百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	62.63	—
23年3月期第2四半期	9.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
24年3月期第2四半期	24,843	—	19,169	—	77.2	—	3,412.95	
23年3月期	25,022	—	18,930	—	75.7	—	3,370.32	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 19,169百万円 23年3月期 18,930百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年3月期	—	20.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,960	3.1	1,370	16.6	1,350	16.7	690	42.6	122.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	6,082,008 株	23年3月期	6,082,008 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	465,232 株	23年3月期	465,212 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	5,616,788 株	23年3月期2Q	5,616,796 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
( 5 ) セグメント情報等 .....	10
( 6 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから引き続き回復を続けているものの、そのテンポは緩やかになってまいりました。先行きにつきましても、景気の持ち直し傾向は継続すると見込まれる一方、電力供給の制約、海外景気の悪化懸念及び長引く円高など、景気が下振れするリスクが依然存在しております。

葬祭市場においては、安定的な需要が予想されているため、既存業者及び異業種からの参入業者間で新規会館出店を伴う顧客獲得競争が、一段と活発化しています。また、社会環境の変化を背景に、本年8月、経済産業省が発表した『安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けて～新たな「絆」と生活に寄り添う「ライフエンディング産業」の構築～』と題する報告書の中で、葬祭業やその関連サービス産業が、「国民一人ひとりの人生や生活の質をさらに向上させるため、今後必要になるであろうサポート」の対象のひとつとして言及されています。この報告書では、葬祭サービスの信頼性向上のための、事業者評価や情報提供の必要性について提言されるなど、葬儀業界に対する社会的関心が一層高まってまいりました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間（以下、当期）の営業収益は88億65百万円（前年同四半期（以下、前年同期）比4.8%増）、営業利益は7億61百万円（前年同期比150.1%増）、経常利益は7億54百万円（前年同期比152.7%増）、四半期純利益は3億51百万円（前年同期比528.7%増）と、増収増益となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

#### 公益社グループ

公益社グループの中核会社である(株)公益社では、葬儀件数が前年同期比0.8%増加しました。この主な要因は、首都圏における葬儀件数が12.0%増加したことによります。また、葬儀単価は、前年6月下旬から葬儀における料理の取引形式を変更し手数料収入とした影響があるものの、前年同期比上昇しました。激化する競争環境の下、こうした結果が得られたことは、実効性の高いマーケティング戦略の実施に加え、前述の社会的関心の高まりに応えられる人材の育成を続けてきた成果が表れてきているものと考えています。

アフター販売については、法事法要収入が前述の料理取引形式の変更により減収となったため、前年同期比減収となりました。なお、この変更に伴う影響を除くと、法事法要収入は実質的には増収となっております。また、仏壇仏具販売収入は増収、返礼品販売収入は香典を辞退する葬儀の比率が高まる厳しい環境の下、販売強化に努めた結果ほぼ横ばいとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は74億11百万円（前年同期比4.5%増）となり、仕入コスト削減効果もあって、セグメント利益は3億31百万円（前年同期は13百万円のセグメント損失）となりました。

#### 葬仙グループ

葬仙グループの(株)葬仙におきましては、葬儀件数は、受注が好調だった前年同期と比べて減少したものの、葬儀単価の上昇及びアフター販売の好調が、件数減による減収を一部補いました。

この結果、当セグメントの売上高は6億91百万円（前年同期比2.0%減）となり、セグメント損失は17百万円（前年同期は3百万円のセグメント損失）となりました。

#### タリイグループ

タリイグループの(株)タリイに関しましては、葬儀件数は競争激化の影響から前年同期と比べて減少したものの、葬儀単価の上昇により、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6億33百万円（前年同期比4.2%増）となり、セグメント利益は1億11百万円（前年同期比47.6%増）となりました。

#### 持株会社グループ

持株会社グループの燦ホールディングス(株)におきましては、主に、グループ各社からの配当収入が減少しましたが、BPR（業務の抜本的革新）の一環として保有土地を外部企業に賃貸したことにより、不動産収入が増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は22億57百万円（前年同期比1.6%増）となり、セグメント利益は7億19百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当期末における資産合計は248億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円減少しました。流動資産は35億72百万円となり、1億49百万円増加しました。主な要因は、営業未収入金が1億17百万円増加したためです。固定資産は212億71百万円となり、3億29百万円減少しました。主な要因は、「公益社 住吉御影会館」の開設による増加があった一方、設備投資を上回る減価償却費の計上により有形固定資産が1億34百万円減少し、さらに、のれん償却額の計上によりのれんが1億3百万円、不動産信託受益権が30百万円減少したためです。

当期末の負債合計は56億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億18百万円減少しました。流動負債は27億97百万円となり、1億64百万円減少しました。主な要因は、借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金が75百万円の減少、さらに未払法人税等が38百万円、役員賞与引当金が24百万円減少したためです。固定負債は28億75百万円となり、2億54百万円減少しました。主な要因は、借入金の返済により長期借入金が2億46百万円減少したためです。

当期末の純資産合計は、191億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億39百万円増加しました。これは、利益剰余金が四半期純利益により3億51百万円増加した一方、配当金の支払により1億12百万円減少したためです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の75.7%から77.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年度3月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月31日に修正公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,394,299	2,360,287
営業未収入金	420,913	538,815
商品及び製品	162,818	164,755
原材料及び貯蔵品	40,782	42,259
その他	405,213	468,051
貸倒引当金	1,636	2,141
流動資産合計	3,422,391	3,572,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,708,546	7,584,331
土地	10,002,132	10,002,132
リース資産(純額)	204,155	195,811
その他(純額)	212,066	210,240
有形固定資産合計	18,126,900	17,992,516
無形固定資産		
のれん	1,037,211	933,531
その他	242,002	221,092
無形固定資産合計	1,279,214	1,154,624
投資その他の資産		
長期貸付金	552,677	537,192
不動産信託受益権	557,544	527,540
差入保証金	663,049	661,313
その他	484,580	422,794
貸倒引当金	63,698	24,717
投資その他の資産合計	2,194,153	2,124,122
固定資産合計	21,600,268	21,271,263
資産合計	25,022,659	24,843,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
営業未払金	600,672	609,167
短期借入金	300,000	315,338
1年内返済予定の長期借入金	612,853	537,000
リース債務	56,629	58,171
未払法人税等	364,848	326,546
賞与引当金	416,024	411,372
役員賞与引当金	40,200	15,450
その他	571,349	524,772
<b>流動負債合計</b>	<b>2,962,577</b>	<b>2,797,818</b>
<b>固定負債</b>		
社債	1,500,000	1,500,000
長期借入金	1,035,000	789,000
リース債務	157,733	147,356
退職給付引当金	21,082	22,360
資産除去債務	123,414	125,429
その他	292,478	291,521
<b>固定負債合計</b>	<b>3,129,709</b>	<b>2,875,668</b>
<b>負債合計</b>	<b>6,092,287</b>	<b>5,673,487</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,568,157	2,568,157
資本剰余金	5,488,615	5,488,615
利益剰余金	11,886,702	12,126,157
自己株式	1,013,103	1,013,127
<b>株主資本合計</b>	<b>18,930,372</b>	<b>19,169,803</b>
<b>純資産合計</b>	<b>18,930,372</b>	<b>19,169,803</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>25,022,659</b>	<b>24,843,290</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	8,456,777	8,865,533
営業費用	7,256,105	7,210,547
営業総利益	1,200,672	1,654,986
販売費及び一般管理費		
役員報酬	162,198	152,114
給料	191,465	194,036
賞与	2,679	5,316
賞与引当金繰入額	43,334	40,790
役員賞与引当金繰入額	16,550	15,450
貸倒引当金繰入額	1,021	8,647
のれん償却額	103,680	103,680
減価償却費	8,057	31,619
その他	367,329	341,994
販売費及び一般管理費合計	896,315	893,649
営業利益	304,356	761,337
営業外収益		
受取利息	7,311	6,833
受取配当金	8	6
雑収入	20,165	13,867
営業外収益合計	27,484	20,707
営業外費用		
支払利息	30,599	25,204
雑損失	2,848	2,822
営業外費用合計	33,447	28,026
経常利益	298,393	754,018
特別利益		
固定資産売却益	-	81
役員賞与引当金戻入額	1,075	-
特別利益合計	1,075	81
特別損失		
固定資産除却損	647	9,285
リース解約損	-	890
移転損失	8,620	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,612	-
特別損失合計	35,880	10,175
税金等調整前四半期純利益	263,588	743,923
法人税、住民税及び事業税	187,994	371,079
法人税等調整額	19,638	21,053
法人税等合計	207,632	392,132
少数株主損益調整前四半期純利益	55,955	351,791
少数株主利益	-	-
四半期純利益	55,955	351,791



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	55,955	351,791
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	55,955	351,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,955	351,791
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	263,588	743,923
減価償却費	367,625	373,429
のれん償却額	103,680	103,680
有形固定資産除却損	647	9,285
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,021	38,476
賞与引当金の増減額(は減少)	7,108	4,651
役員賞与引当金の増減額(は減少)	30,477	24,750
移転損失引当金の増減額(は減少)	119,800	-
受取利息及び受取配当金	7,319	6,840
支払利息	30,599	25,204
有形固定資産売却損益(は益)	-	81
売上債権の増減額(は増加)	64,123	117,901
たな卸資産の増減額(は増加)	835	3,413
仕入債務の増減額(は減少)	80,077	8,495
未払消費税等の増減額(は減少)	6,473	21,376
その他	48,454	1,721
小計	429,656	1,048,248
利息及び配当金の受取額	4,668	4,347
利息の支払額	36,962	25,367
法人税等の支払額	303,080	408,438
法人税等の還付額	121,879	11,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	216,161	630,355
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	600	200
定期預金の払戻による収入	-	7,935
有形固定資産の取得による支出	513,664	205,832
有形固定資産の売却による収入	-	95
無形固定資産の取得による支出	94,756	25,761
貸付けによる支出	-	1,596
貸付金の回収による収入	8,743	19,196
保険積立金の解約による収入	217	279
その他の収入	1,494	2,583
その他の支出	3,479	2,910
投資活動によるキャッシュ・フロー	602,045	206,210

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	15,338
長期借入金の返済による支出	467,204	321,853
自己株式の取得による支出	-	24
ファイナンス・リース債務の返済による支出	21,257	31,547
配当金の支払額	140,419	112,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	528,881	450,422
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	914,765	26,277
現金及び現金同等物の期首残高	2,468,794	2,386,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,554,028	2,360,287

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	7,070,177	705,700	607,546	73,353	8,456,777	-	8,456,777
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20,026	-	-	2,148,469	2,168,496	2,168,496	-
計	7,090,204	705,700	607,546	2,221,823	10,625,274	2,168,496	8,456,777
セグメント利益 又は損失( )	13,845	3,985	75,809	662,854	720,832	422,438	298,393

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	320,000
のれん償却額	103,680
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	1,241
合計	422,438

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
記載すべき事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	7,391,327	691,672	633,203	149,330	8,865,533	-	8,865,533
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20,469	-	-	2,107,806	2,128,275	2,128,275	-
計	7,411,796	691,672	633,203	2,257,137	10,993,809	2,128,275	8,865,533
セグメント利益 又は損失( )	331,464	17,112	111,906	719,621	1,145,879	391,861	754,018

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	288,000
のれん償却額	103,680
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	180
合計	391,861

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
記載すべき事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。